

1 バスの充実について

バス路線の充実、歓迎します。私たちは交通・移動の権利を保障する市政を目指す立場から、新潟や熊本での路線集約や行政の支援のとりくみを紹介しながら公共交通の充実を提案してきました。市民のみなさんの利用拡大も広がっていきます。

さて、地域公共交通網形成協議会では、宇野バスの出した新規路線申請について、市は重複路線のため不要と国に回答するとしました。市のHPの議事要旨によると、市の回答に対し宇野バスが反論するとともに、他の委員が、重複のある路線上の学校のPTAが岡電バスから路線廃止か月々30万円の負担かを求められたという背景事情を話しています。この話は、岡電バスが否定し、訂正を求めています。

質問ア：事実確認として市はどのような調査を行ったのでしょうか。市の見解をお示し下さい。

小学校につながる路線では、子ども運賃が事業者にとって重い負担になりうるものが、トラブルの遠因だと考えます。

松江市や鹿児島市、愛知県知多市や鳥取市は子どもへの定期代の補助を行っています。直接の目的は子育て支援ですが、便数や路線維持にも効果があると思います。子ども運賃への事業者負担の軽減も検討する意味はあると思います。

質問イ：子どもへの通学定期について、保護者と事業者の負担について、補助が考えられませんか。

質問ウ：ハレカハーフの子ども版をつくって、子どもの利用促進と事業者負担軽減を検討しませんか。

2 町内会活動の支援について

デジタル活用促進事業が新規事業として491万5千円計上されています。アプリやウェブサイト整備や活用に半額出す他、市公式LINE上の自治会ページに情報等を発信できるようにすると言います。

町内会は地縁組織です。すべての会員に情報が届くこととともに、発信内容は地縁組織の性格にあったものである必要があると考えます。町内会としての発信に相応しくない内容や、誤発信を市の公式LINEで流すことは避けたい

ところでは。

質問ア：町内会で個別にグループラインを設けることでなく、市の公式LINEを使う必要性は何ですか。

質問イ：町内会からの情報発信について、市公式LINEに乗せる場合、発信内容についてルールを市が設けることになりますか。

町内会活動への防犯灯の支援などの負担軽減に感謝します。課題意識についておたずねします。

質問ウ：町内会の加入率の現状と、この間の傾向をお示してください。

質問エ：町内会の活動で、住民全体が受益者になりうるものはどのようなものがありますか。

質問オ：受益者と町内会活動の担い手のギャップをどう埋めるか、お考えをお示してください。

3 山林火災をうけたとりくみについて

南区の山林火災からもうすぐ一年です。市民のひろばおかやま3月号で特集記事が組まれており、消防団で夜どおし消火活動や交通整理にとりくんで寒かったことを思い出しました。

本議会では甲第37号議案で岡山市火入れに関する条例、46号で火災予防条例の改正が出されています。この冬も各地で山火事が発生し、今月は山口県内の山焼きで消防団員が死亡する事故が起こっています。火災対策にいつそう力を尽くしていただきたいです。

たき火の際には、現在は書面の届け出が必要です。火災予防の観点を据えていただきたいです。その上で当日までの電話の届け出を認めれば、届けが簡単になる上に、必要な注意が口頭でできるようになり、火災予防の上での効果が期待できます。

質問ア：たき火や野焼きの書面での届け出と、火入れの申請の実績はどれだけですか。発生した火災のうち、届け出や申請があったのはどれだけですか。

質問イ：必ず届け出や申請を行ってもらうためにはどうするか、課題意識があればお示してください。

質問ウ：条例改正で何が変わりますか。林野火災注意報や警報は、市民にとっ

てどう周知されるものですか。

質問エ：昨年の山林火災で19件の被害が出ました。そのうち農業被害への支援はどうなりますか。

質問オ：県が行っている山林復旧と、崩落防止対策について、市はどのようなとりくみをされていますか。

質問カ：9月補正予算での職員と団員の装備品の納入状況をお示してください。

4 アリーナと市民のスポーツ推進について

アリーナ建設について、日本共産党の代表質問で触れられた住民投票を求める署名とは別に、アリーナ建設を白紙に戻すことを求める署名を「市民本位の市政をつくる会」という団体が集めています。先週の街中での署名行動では多くの市民が足を止め「ハコモノばかりつくりすぎ」などの声が寄せられました。寄せられた声を届けることが大事だと改めて感じています。

アリーナ用地に関わり、市道北長瀬表町・野田線の一部廃止を計画していません。

質問ア：アリーナの建築面積及び敷地面積はどれだけですか。近傍の岡山ドームとの比較もお示してください。

第6回アリーナ検討会議では、市民の「する」スポーツについての話を聞きました。「見る」スポーツとは別に推進すべきものです。障害者体育センター、中学校体育館のエアコン設置は歓迎です。小学校体育館をはじめ、さらに広げてほしいです。第2期岡山市スポーツ推進計画のスポーツ環境整備に関わっておたずねします。

質問イ：市有の体育館でエアコンの無いところはどれだけで、設置にむけてどうするかお示してください。

質問ウ：学校体育施設の開放について、活用状況の把握や手続等の改善状況はどうなっていますか。

質問エ：大学やその他民間の、市有でない体育館は市内にどれだけありますか。すぐ使えるかどうかに関わらず、スポーツができる場所として把握を始めませんか。

以上